

組織拡大と要求実現に向け全力を挙げよう

国労東海本部が第32回定期大会を開く



国鉄労働組合
東海エリア本部

東京港区新橋5-15-5
交通ビル4階
発行責任者 長岡正之
編集責任者 渡邊和久

長岡委員長あいさつ (要旨)

- 1、運動方針に基づき、真摯に運動に取り組んできた組合員に感謝する。安倍政権は「テロ等準備罪」を新設する組織犯罪処罰法改正案を参議院本会議で強行採決・成立させた。「戦争法」の採決から始まった強行採決に国民の怒り収まらず、東京都議会選挙や仙台市長選挙で自民党政治にNOという結果を突きつけた。国会の閉会中審査では「森友・加計学園問題」や陸自問題などは説明不足で国民の疑問や怒りは収まっていない。内閣改造が行われたが、安倍一強政権に歪みが出てきているのは明白。今こそ安倍政権打倒に向け、国民・労働者の先頭に立ち、闘いを展開し行こう。
- 2、秋の臨時国会に法案提出を準備している働き方改革関連法案は、法で過労死時間を超える超勤時間を容認するもので断じて成立させてはならない。さらに、経済界が求めている残業代ゼロ法案とあわせ労基法の大改悪であり、労働者の生活と権利を守る闘いを展開する国労は、看過できない。地域の仲間・共闘する仲間と、労働法制改悪反対の運動を推し進めることが、より重要である。
- 3、JR発足30年を迎え、本州三社は、巨額の内部留保をため込み、増収増益を更新する一方、三島・貨物会社は苦しい経営が続いている。JR北海道では、「当社単独で維持・困難な線区」が道内の半分にも及び、会社経営自体が大変困難な状況に迫り込まれている。東海会社は決算で営業収益・

各利益とも過去最高。しかし、一方では駅の無人化・ワンマン列車化・新幹線車掌の削減など、サービスの低下や安全が犠牲なる恐れがある。「職場総点検・安全総点検運動」を全職場から展開し、安全安定輸送の確立を目指し、全組合員が団結し、運動を展開していく。「定期健康診断労働時間化」「夏季制服のノーネクタイ化」を粘り強い運動・交渉で勝ち取って来たことに自信を持ち、職場・分会で要求獲得に取り組むことが組織拡大に繋がる。

貨物会社では、これ以上の賃金抑制は許されない情勢下で春闘を迎え、要求・交渉の強化・宣伝行動・他労組へのオルグ・ストライキ体制への準備など最大限の闘いを展開してきた。結果は、「18年連続ベアゼロ」という極めて不満な回答であった。今後も全国の国労組合員が、客貨一体となり取り組んで行くことが重要になっている。

ジェイアール東海バスでは、相変わらず要員不足による、休日労働が解消されておらず、JR東海との労働条件、賃金の格差も大きなものとなっている。契約社員はさらに格差をつけられている。多くの問題点を他労組の組合員を巻き込みながら、交渉と闘いを強化し改善を図ることが重要である

4、組織拡大を喫緊の課題として全力を挙げ取り組んできた。東海では昨年の大会以降、本日まで成果が現れていない。各地方・分会・で努力・奮闘していることは承知している。全国大会での宮里弁護士の挨拶の中で、「諦めた時が、終わりの時だ」とあったがその通りである。各級機関は意思統一し、組合員一人ひとりが強い意思を持ち、組織拡大に取り組んでいこう。

国労東海本部は8月4日、東京・大崎で第32回定期大会を開催しました。

大会では、木村副委員長の司会挨拶を受けた後、議長に新幹線地本の二戸代議員を選出して

大会議事に入りしました。長岡委員長挨拶(左囲み参照)の後、交運共済東海事業本部の菅沼本部長、JAL不当解雇撤回闘争団の石戸さんと斉藤さんのそれぞれから来賓挨拶を受けました。

また、国労本部菊池委員長より、組織拡大の重要性などをはじめとした挨拶がされました。

その後、協約・協定の締結、2016年度決算報告等の承認後に、上野書記長の経過報告及び2017年度運動方針の提起で午前の議事を終了。午後の議事再開冒頭に機関紙コンクールの結果報告・表彰を行いました。

討論では17人の代議員から発言があり、上野書記長による答弁・集約を受けて全体で運動方針が承認されました。2017年度予算等の承認、スト権確立後に新役員の決定、特別決議・大会宣言を採択し、長岡委員長による「団結ガンバロー」唱和で閉会しました。

「がん」の保障 <新生きるためのがん保険Days 新生きるためのがん保険Daysプラス>

新生きるためのがん保険Days
保障期間終身(がん発症後保障は10年)

＜Aプラン 入院給付金日額10,000円＞

診断給付金	100万円	10万円
入院給付金	10,000円	10,000円
手術給付金	10,000円	10,000円
放射線治療給付金	20万円	20万円
抗がん剤治療給付金	10万円	5万円

＜Bプラン 入院給付金日額10,000円＞

診断給付金	100万円	10万円
入院給付金	10,000円	10,000円
手術給付金	10,000円	10,000円
放射線治療給付金	20万円	20万円
抗がん剤治療給付金	10万円	5万円

＜Cプラン 入院給付金日額10,000円＞

診断給付金	100万円	10万円
入院給付金	10,000円	10,000円
手術給付金	10,000円	10,000円
放射線治療給付金	20万円	20万円
抗がん剤治療給付金	10万円	5万円

＜Dプラン 入院給付金日額10,000円＞

診断給付金	100万円	10万円
入院給付金	10,000円	10,000円
手術給付金	10,000円	10,000円
放射線治療給付金	20万円	20万円
抗がん剤治療給付金	10万円	5万円

2014年9月22日現在
※「抗がん剤治療特約」の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。

新生きるためのがん保険Daysプラス
保障期間終身(がん発症後保障は10年更新)

年齢	男性	女性
20歳	2,020円	2,190円
30歳	2,840円	3,100円
40歳	4,270円	4,590円
50歳	6,920円	5,940円

2014年9月22日現在
※「抗がん剤治療特約」の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。

新生きるためのがん保険Daysプラス
保障期間終身(がん発症後保障は10年更新)

年齢	男性	女性
20歳	735円	405円
30歳	1,035円	545円
40歳	1,560円	830円
50歳	2,580円	1,450円
60歳	4,405円	2,690円
20歳	900円	585円
30歳	1,300円	860円
40歳	1,955円	1,360円
50歳	2,480円	1,740円
60歳	2,905円	1,970円

2014年9月22日現在
※「抗がん剤治療特約」の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。

※詳しくは「契約概要」等をご覧ください。
 <募集代理店> アペニール株式会社 〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3F TEL: 03-3437-6810 FAX: 03-3437-6822
 <引受保険会社> アフラック 東京第二法人営業部 〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル 当社保険に関するお問い合わせ・各種手続き コールセンター 0120-5555-95

「生きる」を創る。Aflac
AF006-2016-0844 12月27日

17労働協約要求申入れ

52項目・60要求を提出!

国労東海本部は8月1日東海申12号労働協約改訂要求をJR東海に提出しました。

地方本部や職協から集約された244項目を精査し、52項目60要求に絞り込んだものとなりました。特に労働時間管理などは厚生労働省から再徹底の通知が出されていることから交渉の中心の一つとなっています。

また、この間の懸案事項である退職金問題や専任社員の労働条件、さらには育児支援制度の充実を求めた保育施設の設置など多岐にわたる内容での交渉となります。

バス会社へは62項目提出

国労東海本部と自動車協会はジェイアール東海バスへ8月7日に要求を提出し、労働協約交渉に入りました。

軽井沢スキーバス事故などこの間のバス事故でクローズアップされた、バス運転手の過酷な勤務実態を反映した要求となっています。

また、要求では労働条件の改善が安全輸送の根幹となっていることなどを趣旨の中心として据えています。

秋は各JR会社での労働協約交渉が行われ、労働条件改善の取り組みの時期です。

職場からも要求実現に向けて取り組みを強化することが求められています。

17名の代議員による活発な討論

大西(名古屋・神領車両区)

台湾は、年に一度全土で軍事訓練を行っているが、日本も今の政権では同じことになるのではと危惧する専任社員となったが、労働条件も責任も現職時と変わらず、賃金だけ下がった。

同一労働同一賃金へ向けて、国労が先頭に立って取り組んで欲しい。リニア建設、会社は政治介入を嫌って独自で建設するとの事だったが、財政投融資を利用した3兆円の融資は政治介入になるのではないか。リニア建設に対する住民説明会は時間が来たら打ち切るなど、JR東海に対し住民は、おごり高ぶっていると感じている。駅の無人化が進み、安全が脅かされている。

ないか。会社としては、賃金抑制になっているのではないか。様々な意見があるのは理解するが、同じ仕事で賃金だけ下がるのはおかしい。誕生日の違いで年収が変わる、現在の退職日の設定は納得できないので、年度末での退職制度にするべきだ。

澤木(新幹線・東京第一運輸所)

6月1日より、制服が変更となり体力的には楽になったが、バッグ等の改良は進めてほしい。

分会組合員は、50歳後半と60歳前半で健康問題が増えており、分会の維持で精一杯の状態になっている。車内業務の見直しで、車掌が3人から2人となり減った車掌の代わりにJRのパーサーでの対応となり、中乗り車掌を無くす予定となっている。JRへの出向が増えるのではないかと危惧とともに、車掌への負担が増えることを心配している。要員問題を含め、交渉で明らかにしてほしい。車掌長をやっているも、主任になっていない組合員は受験しても受からずに諦めている状態で、退職までには合格させて欲しい。

池谷(静岡・磐田駅)

JR発足から30年で、駅の業務委託化が進んでいる。興津駅では旅客がホームから転落し、他の旅客が助ける状態で利用者の安全が後退している。東海道本線の岡崎・豊橋間の駅を無人化し「集中旅客システム」の券売機を設置するという一方で、静岡地区へも導入される懸念があるなか、現在同じシステムが導入されている武豊線の実態を現地調査してきた。同じようなシステムを導入している他のJRとも交流が必要だ。公共交通を守る為に、利用者の声、自治体への働きかけた闘いを。ナショナルセンターを超えた運動を、地域と一体となった運動が必要。国労は全国単一体の組織として、貨物の問題を含め、政治闘争、労働条件改善、次世代に国労運動を引継がなければならない。

(次号へ続く)

家族の幸せを災害から守る

火災共済 オプション保障

火災共済の保障力を、さらにアップさせる新制度。

近隣の家へ損害を与えたときの「類焼損害保障」、日常生活での賠償事故に備える「個人賠償保障」、賃貸住宅で火事を起こした場合の「借家人賠償保障+修理費用」。火災共済とセット加入することで大型保障を実現します。

B1424401E2144-20150209

交運共済

類焼損害保障



個人賠償保障



借家人賠償保障
+ 修理費用



※借家にお住まいの方のみ

オプション保障(類焼損害費用保険、個人賠償責任保険、借家人賠償責任保険+修理費用)は、共済火災海上保険㈱を引受保険会社とする保険契約であり、共済ではありません。詳しい内容は必ずパンフレットおよび重要事項説明書をご確認ください。

みんなで暮らしをガード
交運共済 (JR職域生協)
全国交通運輸産業労働者共済生活協同組合